

## 建築学系学修課程

### 人材養成の目的

良い建築と都市・環境をつくるための、学術、技術、芸術を三位一体とする実学である建築学の基礎的専門知識、幅広い理工系基礎学力、人文学・社会科学の素養を有し、柔軟で自由な発想、思考、創造力、倫理観を持ちながら「もの」「こと」「しくみ」をつくり上げる企画力、表現力、コミュニケーション能力を兼ね備え社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。

### 学修目標

本課程では、上記の目標達成のために、次のような能力の修得を目標としている。

- ・ 建築学に関わる研究、創作、技術開発に必要な専門学力と理工系基礎学力および論理的思考力
- ・ 俯瞰的な視点から新たな方向性を見出すために必要な幅広い教養
- ・ 研究、創作、技術開発における論理的な思考力、創造力、企画力、表現力
- ・ 倫理観をもって未知の世界に挑戦する力
- ・ 国際的な視野から研究、創作、技術開発を進めるために必要な語学力、コミュニケーション能力

### 学修内容

本課程では、「学修目標」で記載した「修得する能力」を身に付けるために、次のような内容の学修を行う。

#### A) 建築学分野の専門基礎学修

必修科目による建築学基礎の学修および実験・演習・実習を介したそれら基礎理論の実践的学修

#### B) 建築学の応用学修

専門基礎科目に対応した必修科目である実験と、豊富な専門選択科目による理論の応用を学ぶ学修

#### C) 広い視野を養い、主体的に進める学修

社会と自然を正しく理解し、最新の工学・学術的知見を利用して未来の建築技術の創造に挑戦する構想力および研究・技術開発に必要となる主体的に取り組む力をつける学修

#### D) 社会との関わりを体験する学修

社会で活躍する講師陣らによる、専門科目を通しての体験学習や技術者倫理学修

#### E) コミュニケーション能力の強化学修

国際的な視野から研究、創作、技術開発を進め、自分の意見を論理的に表現するために必要となる語学力、コミュニケーション能力を養成する学修

### 授業科目

建築学系の標準科目は、付表のとおりである。「◎」は必修科目である。「○」は選択必修科目である。空欄は選択科目である。★は英語開講科目である。

ナンバリング（科目コード）における「分野コード」の意味は次のとおり。

A: 共通, D: 建築史・建築意匠学, P: 建築計画学・都市計画学, S: 建築構造学・建築材料学,  
E: 建築環境工学・建築設備学。

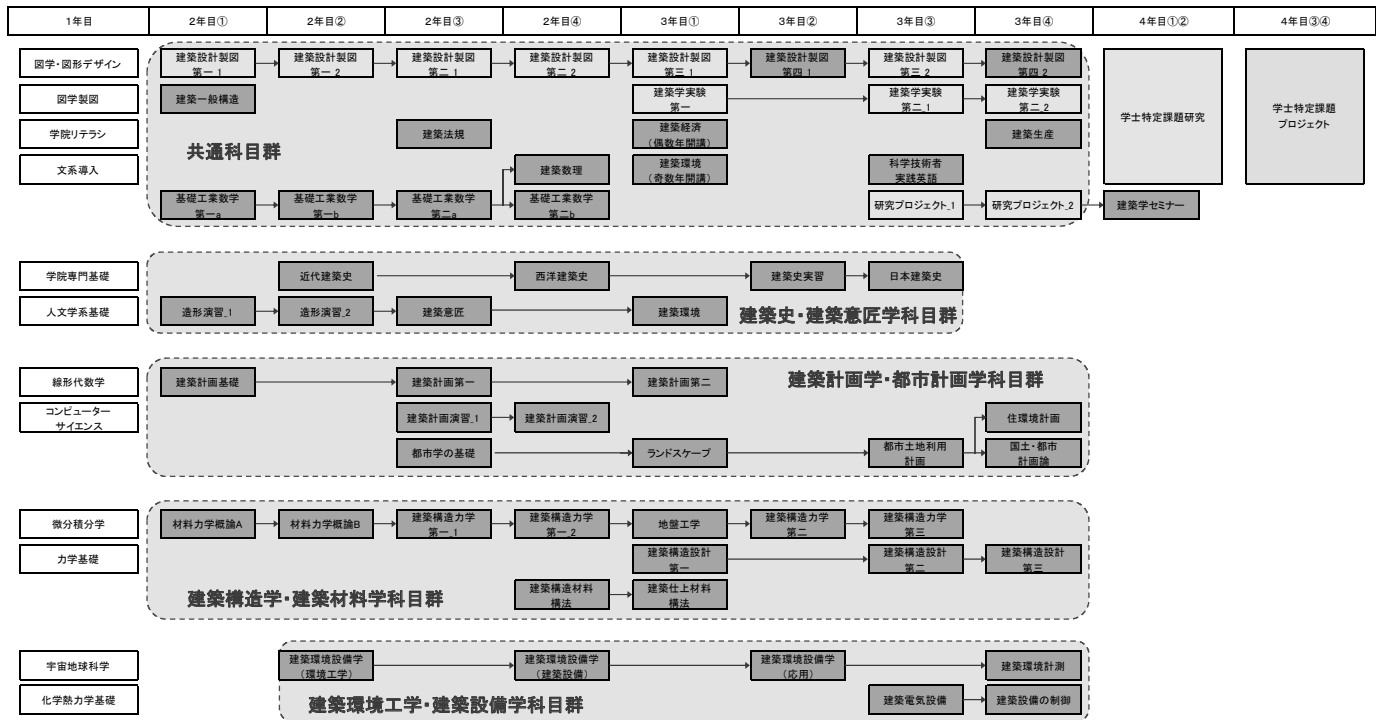
身に付ける力は以下の通り。

1: 専門力 2: 教養力 3: コミュニケーション力 4: 展開力(探究力又は設定力) 5: 展開力(実践力又は解決力)

科目区分	番台	科目コード	科目名		単位	身に付ける力	学修内容	備考	
専門科目 (200番台)	200	ARC. A206. L			基礎工業数学第一 a	1-0-0	1	A	数学系開講科目 (MTH. U211) 履修前提科目
	200	ARC. A207. L			基礎工業数学第一 b	1-0-0	1	A	数学系開講科目 (MTH. U212) 履修前提条件付き科目
	200	ARC. A208. L			基礎工業数学第二 a	1-0-0	1	A	数学系開講科目 (MTH. U213) 履修前提科目
	200	ARC. A209. L			基礎工業数学第二 b	1-0-0	1	A	数学系開講科目 (MTH. U214) 履修前提条件付き科目
	200	ARC. A201. R	◎		建築設計製図第一	0-0-2	1345	A, E	
	200	ARC. A202. R	◎		建築設計製図第二	0-0-2	1345	A, E	
	200	ARC. A203. A	○		建築一般構造	2-0-0	1	A, C	
	200	ARC. A204. L			建築法規	1-0-0	1 5	A, C	
	200	ARC. A205. L			建築教理	2-0-0	145	A, C	
	200	ARC. D201. A	○		近代建築史	2-0-0	1 2	A, C	
	200	ARC. D202. L			西洋建築史	2-0-0	1	A, C	
	200	ARC. D203. L			造形演習	0-1-1	1	A, D	
	200	ARC. D204. L			建築意匠	1-1-0	1 3	A	
	200	ARC. E201. A	○		建築環境設備学 (環境工学)	2-0-0	1 5	A	
	200	ARC. E202. L			建築環境設備学 (建築設備)	2-0-0	1 5	A	
	200	ARC. P201. A	○		建築計画基礎	2-0-0	12345	A	
	200	ARC. P202. A	○		建築計画第一	2-0-0	125	A	
	200	ARC. P203. L			建築計画演習	0-2-0	145	A	
	200	ARC. P204. L			都市学の基礎	2-0-0	134	A	
	200	ARC. S201. A	○		材料力学概論 A	1-0-0	1 5	A	
	200	ARC. S202. A	○		材料力学概論 B	1-0-0	1 5	A	
	200	ARC. S203. A	○		建築構造力学第一	2-1-0	1 5	A	
200	ARC. S204. A	○		建築構造材料構法	2-0-0	1 5	A		
専門科目 (300番台)	300	ARC. A309. L		★	科学技術者実践英語	1-0-0	235	A, C	共通専門科目 (VEN E301)
	300	ARC. A301. R	◎		建築設計製図第三	0-0-3	1345	B, C, E	
	300	ARC. A302. R	◎		建築学実験第一	0-0-1	145	A	
	300	ARC. A303. R	◎		建築学実験第二	0-0-1	1 5	B	
	300	ARC. A304. L			建築設計製図第四	0-0-3	1345	B, D, E	
	300	ARC. A305. L			建築経済	1-0-0	145	B, C	
	300	ARC. A306. L			建築環境	1-0-0	1	B, C	
	300	ARC. A307. L			建築生産	2-0-0	1245	B, C	
	300	ARC. A308. L			建築学セミナー	2-0-0	1 5	B	
	300	ARC. D301. L			建築史実習	0-0-1	1 2	A, C	
	300	ARC. D302. L			日本建築史	2-0-0	1 2	A, C	
	300	ARC. E301. L			建築環境設備学 (応用)	2-0-0	1345	B	
	300	ARC. E302. L			建築環境計測	1-0-1	145	B	
	300	ARC. E303. L			建築電気設備	1-0-0	1	B	

科目区分	番台	科目コード	科目名		単位	身に付ける力	学修内容	備考
専門科目 (300番台)	300	ARC. E304. L		建築設備の制御	1-0-0	1	B	
	300	ARC. P301. L		建築計画第二	2-0-0	145	B	
	300	ARC. P302. L		ランドスケープ	2-0-0	134	B	
	300	ARC. P303. L		住環境計画	2-0-0	145	B	
	300	ARC. P304. L		都市土地利用計画	2-0-0	1	B	
	300	ARC. P305. L		国土・都市計画論	2-0-0	1 4	B	
	300	ARC. S301. A	○	建築構造設計第一	2-1-0	1 5	B, C	
	300	ARC. S302. A	○	建築構造設計第二	2-1-0	1	B, C	
	300	ARC. S303. L		建築構造設計第三	2-0-0	145	B, C	
	300	ARC. S304. L		地盤工学	2-0-0	1 5	B	
	300	ARC. S305. L		建築構造力学第二	2-1-0	1	B	
	300	ARC. S306. L		建築構造力学第三	2-0-0	1 5	B	
	300	ARC. S307. L		建築仕上材料構法	2-0-0	1 5	B	
研究関連科目 (300番台)	300	ARC. Z381. R	◎	研究プロジェクト (建築学系)	0-0-2	135	B, C, D	
	300	ARC. Z388. R	◎	学士特定課題研究 (建築学系)	0-0-4	145	B, C, D, E	
	300	ARC. Z380. R	◎	学士特定課題研究S (建築学系)	0-0-8	145	B, C, D, E	早期卒業適格者認定を受けた者限定科目
	300	ARC. Z399. R	◎	学士特定課題プロジェクト (建築学系)	0-0-6	145	B, C, D, E	

# 科目体系図



# 標準的履修例

1年目 (100番台)	2年目(200番台)				3年目(300番台)				4年目(300番台)			
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
	建築設計製図第一		建築設計製図第二		建築設計製図第三		建築設計製図第三		建築学セミナー			
・文系教養科目 ・英語科目 ・理工系教養科目 ※以下、学士特定課題研究の申請要件科目 図学・図形デザイン第一 図学・図形デザイン第二 図学製図	建築一般構造				建築学実験第一		建築学実験第二					
	材料力学概論A	材料力学概論B	建築法規	建築数理			建築生産					
・広域教養科目 ・初年次専門科目 ・創造プロセス科目	基礎工業数学第一a	基礎工業数学第一b					科学技術者実践英語					
	近代建築史		建築意匠									
研究関連科目	建築計画基礎		建築計画第一									
			建築構造力学第一		建築構造設計第一		建築構造設計第二					
			建築構造材料構法									
		建築環境設備学(環境工学)		建築環境設備学(建築設備)								
							研究プロジェクト		学士特定課題研究		学士特定課題プロジェクト	

## 学士特定課題研究履修要件

学士特定課題研究を履修するには、次の要件を満たさなければならない。

- (1) 図学・図形デザイン第一，第二および図学製図計 5 単位。
- (2) 付表に示す科目から◎印 6 単位以上，○印 18 単位以上，を含め計 50 単位以上。
- (3) 研究プロジェクト（2 単位）を修得していること。
- (4) 上記(1)，(2)，(3)を含め総修得単位数が 110 単位以上。

## 学士特定課題プロジェクト履修要件

学士特定課題研究(4 単位)を修得していること。

## 卒業要件

本課程を卒業するためには、次の要件を満たさなければならない。

- (1) 付表中の科目のうち，◎印の科目を全て修得していること。
- (2) 付表中の科目のうち，○印の科目を 21 単位以上修得していること。
- (3) 付表から 63 単位以上修得していること。
- (4) 学士特定課題研究（4 単位），学士特定課題プロジェクト（6 単位）を修得していること（卒業制作を含む）。

なお，早期卒業者は，「学士特定課題研究（4 単位），学士特定課題プロジェクト（6 単位）」を，「学士特定課題研究 S（8 単位）」と読み替えることができる。

- (5) 上記(1)，(2)，(3)，(4)を含め総修得単位数が 128 単位以上。

## 学修一貫（学士課程・修士課程一貫）の教育体系

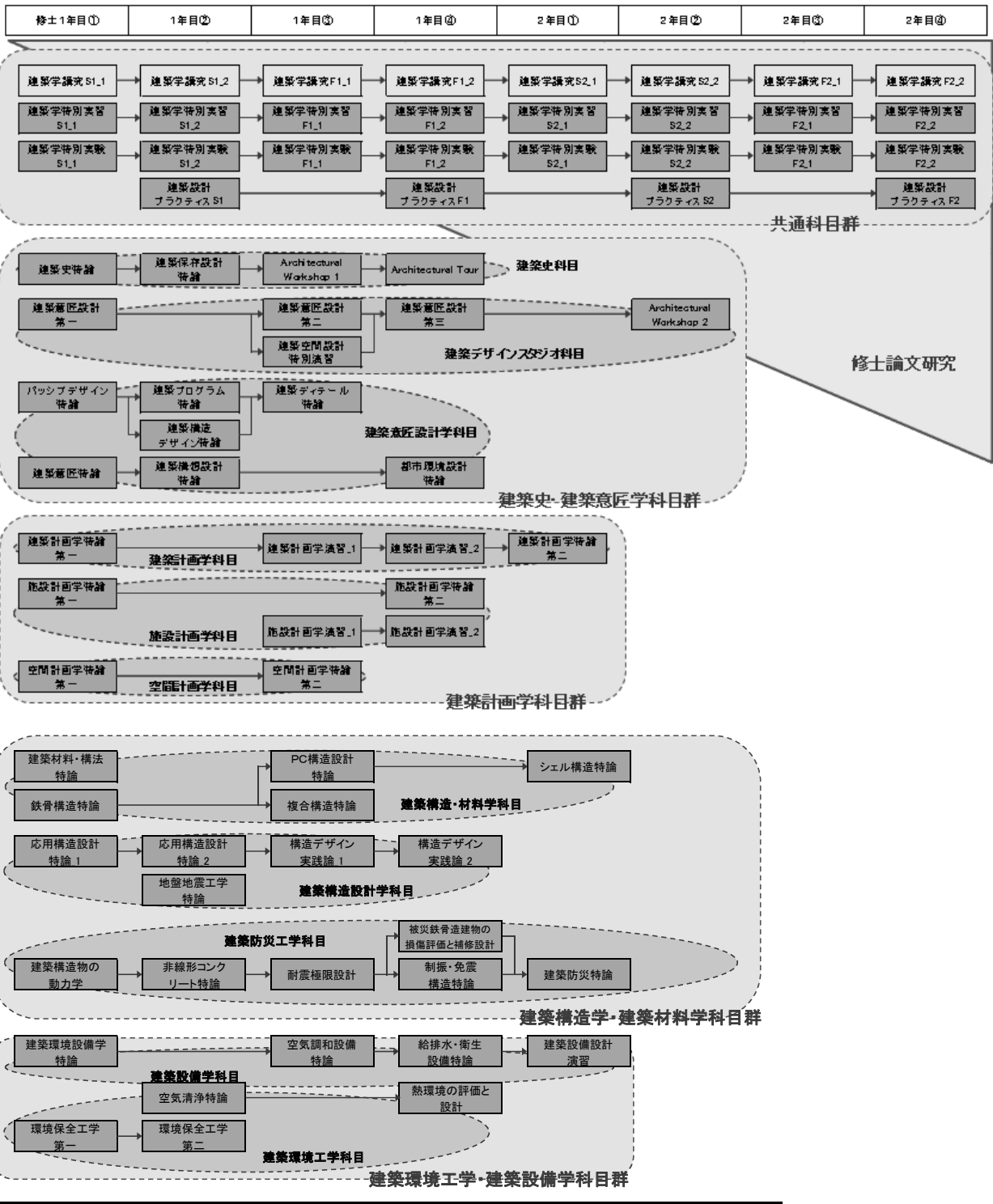
建築学系は、学修一貫教育により、修士課程の建築学系建築学コース，都市・環境学コース，エンジニアリングデザインコースにおいて、「建築・都市に関わる基礎的な知識と専門学力に基づいた広い視野を持ち，新たな課題に主体的に取り組むことができる人材」を養成することを目的とする。上述のコースでは次のような能力の修得を学修目標としている。

- ・ 建築・都市に関わる研究，創作，技術開発において専門知識を活用して実践に導く能力
- ・ 建築学，都市・環境学，エンジニアリングデザインの深奥を究めようとする探究力
- ・ 建築学，都市・環境学，エンジニアリングデザイン以外の研究を統合し，新しい研究や創作の分野を創造する能力
- ・ 国際的な視野に基づき研究，創作，技術開発における潮流を理解し体系化する能力
- ・ 国際的に通用するコミュニケーション基礎力

修士課程におけるカリキュラムについてはコースごとに次のようになっている。建築学系の科目体系図と併せてみるとわかるが，系では幅広い専門性を，コースでは卓越した専門性を修得できるように，系とコースが一体となるカリキュラムとなっている。

【建築学コースの科目体系図】

黄塗は必修 緑塗は選択必修、又は選択



【都市・環境学コースの科目体系図】

【都市・環境学コース(修士課程)】

		黄塗は必修		緑塗は選択必修、又は選択		他コース科目	連携教員科目		
		1①	1②	1③	1④	2①	2②	2③	2④
都市防災システム分野	建築構造物の力学401 非線形コンクリート特論402 Applied Building Structural Design461 安全な都市環境特論第一434 Basics of Stochastic Process for Earthquake Engineering431 地震震動論の基礎433	地盤地質工学特論462 <b>建築構造</b>	耐震構設計403 Advanced Course on Design of Prestressed Concrete Structure463	耐震・免震構造特論404 被災鉄骨造建築物の損傷診断と補修設計405 建築構造モデル解析406			建築防災特論501		
			都市防災 Remote Sensing for Disaster Managements54 Earthquake and Tsunami Disaster Reduction435			非構造耐震設計論503	安全な都市環境特論第二504 Microtremor Survey Tech. using Theory of Stochastic Process531 地震震動論の応用532		
システム都市環境分野	GIS and Digital Image Processing for Built Environment402 環境設計基礎401 人間環境デザイン論第一432	都市環境工学基礎404 都市大気環境論基礎403		都市環境工学 都市設備特論501 空気環境特論502			環境教育シミュレーション506 熱環境工学応用505 都市大気環境論応用504		
交通計画分野	プロジェクト管理401 地域の計画プロセスの理論402 Mathematical Modeling of Individual Choice Behavior	都市計画403 <b>都市計画・交通計画・エネルギー</b>	Challenging Planning in the Transportation Network Analysis 持続可能な都市環境特論第二 都市環境学概論	人間環境デザイン研究の実践第一432 人間環境デザイン研究の実践第二433	Transportation Economics Theories in Urban Analysis and Planning II 451	空間・計画原理/理論	都市の環境設計503 人間環境デザイン論第二531	修士論文研究 Principles of Construction Management	
都市・まちづくり分野	歴史空間論第一401 都市空間論404 都市デザイン・まちづくり理論403 Architectural Preservation and Renovation 462 保護な都市環境特論第二442 都市・まちづくり計画演習第一441	歴史空間論第二405 建築プログラム特論463 都市環境学概論 空間計画学特論第一451 <b>空間計画・環境デザイン</b>	都市空間論第二402 都市・まちづくり特別講義第一411 計画理論409 3D・4D・5Dの都市計画410	風景論406 都市・まちづくり特別講義第二412 都市再生開発論413 3D・4D・5Dの実践412	Urban Planning and Development in Japan507 都市・地域再生原論502 観光計画基礎501 観光計画応用503	社会空間原論505 社会空間実践506 Environment Design in Japan 441			
共通		建築設計プラクティスI 都市・環境学特別実験S1 493 都市・環境学講義S1 491	都市計画史特論408 都市開発事業の基礎447 都市・まちづくり計画演習第二444 Theory of Architectural Design II 464	建築設計表現特論448 3D・4D・5Dの演習第二443 公共システムデザイン特論471	建築設計表現特論448 3D・4D・5Dの演習第二443 公共システムデザイン特論471	社会デザイン・公共システム	保護な都市環境特論第二442		
			建築設計プラクティスI 都市・環境学特別実験F1 494 都市・環境学講義F1 492	建築設計プラクティスI 都市・環境学特別実験S2 593 都市・環境学講義S2 591	建築設計プラクティスII 都市・環境学特別実験F2 594 都市・環境学講義F2 592				

【エンジニアリングデザインコースの科目体系図】

